

通 信

四学会合同大会のお知らせ

日本動物学会九州支部（第67回）、九州沖縄植物学会（第64回）、日本生態学会九州地区会（第59回）、沖縄生物学会（第51回）合同沖縄大会のご案内

沖縄生物学会の第51回大会を下記の要領で開催いたします。今回は日本動物学会九州支部会（第67回）、九州植物学会（第64回）、日本生態学会九州地区会（第59回）との共同開催となります。会場は琉球大学です。一般講演、自由集会、懇親会を予定しています。今大会は合同大会のため参加申し込み、講演申し込み、講演要旨の書式などが例年と異なります。また別途、ご案内を差し上げますので、多数の会員のご参加をお待ち申し上げます。

日程：2014年5月24日（土）～25日（日）

5月24日（土）

- 11：00～11：30 動物学会九州支部・九州沖縄植物学会委員会
- 11：30～12：00 生態学会九州地区委員会
- 12：00～ 受付
- 13：00～14：00 合同ポスター発表・高校生ポスター発表（奇数番号発表）
- 14：00～15：00 合同ポスター発表・高校生ポスター発表（偶数番号発表）
- 15：10～15：40 動物学会九州支部・九州沖縄植物学会総会
- 15：40～16：10 生態学会九州地区総会
- 16：20～17：50 公開シンポジウム「琉球諸島の生物多様性の固有性の解明とその保全研究の現状（仮題）」
- 18：00～20：00 懇親会（琉球大学中央生協）

5月25日（日）

- 8：30～ 受付
- 9：00～12：00 一般講演（口頭発表）
- 13：00～14：00 沖縄生物学会総会
- 14：00～16：00 一般講演（口頭発表）

* ポスター・口頭発表の演題数によっては、時間変更の可能性がります。

会場：琉球大学 共通教育棟

（〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1番地）

大会連絡先：

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1番地 琉球大学理学部海洋自然科学科

中村 宗一（四学会合同沖縄大会実行委員会）TEL：098-895-8577

第二回ダイトウオオコウモリ一斉カウント調査をしました！

伊澤雅子・傳田哲郎

ダイトウオオコウモリはクビワオオコウモリの大東諸島固有亜種です。クビワオオコウモリの他の亜種が外見からではほとんど見分けがつかないのに対して、この亜種だけが毛色が白から黄色であるという点、約100年前の入植時に島の自然環境が大きく変わってしまったにも関わらず、残された自然を利用して生き延びてきた点など、生物学的にも興味深いことが多い動物です。国の天然記念物であり、哺乳類ではわずか5種（亜種）のみが指定されている国内希少野生動植物種のひとつです。

2002年に南北大東島でダイトウオオコウモリの一斉カウント調査を行いました。「それから約10年がたち、環境も変わったりしたけれど、オオコウモリはどうなったの？」という疑問に答えるために、環境省那覇自然環境事務所とともに、第二回ダイトウオオコウモリ一斉カウント調査を企画しました。11月5日、6日に南大東島で、12月1日、2日に北大東島で、基本的に10年前と同じ時期に、同じやり方で実施しました。南大東島では島の方たちと琉球大学の学生とあわせて183名の参加のもと91ポイントで、北大東島では102名の参加のもと43ポイントで、同時にオオコウモリをカウントしました。

どちらの島でも当日は天候にもめぐまれ、予定通りの観察ができました。説明会のあと、それぞれの場所の記録ファイルと懐中電灯を手にもって観察に出かけました。幼稚園から中学生までの子どもたちもたくさん参加してくれました。島にいても実はオオコウモリは見たことがないという子も多く、また、夜に外に出かけるというのも普段はないことで、大騒ぎです。残念ながら「見れなかった・・・」と言って帰ってこられた方もありますし、「見れた、見れた！」と楽しそうに帰ってこられた方もあります。

これからカウントのダブリなどをチェックしながら集計して、結果がでるのは年明けになると思います。ご協力いただいた南北大東島の住民のみなさん、行政機関の方たち、ありがとうございました。



調査前におこなわれた説明会



夜の調査風景

沖縄生物学会事務局からのお知らせ

高校生ポスター発表 5月24日(土)の午後に高校生によるポスター発表を計画しております。九州各県からの参加者に自分たちの研究成果を発表し、質疑を行う良い機会でもあります。大会参加費は免除されますのでふるってご参加ください。詳細はホームページおよび通信93号にてお知らせいたします。(高校生ポスター発表についての問い合わせは沖縄生物学会事務局までお願いします)

四学会合同大会の日程

開催案内の配布：2014年2月上旬

発表申込み：2014年4月4日(金)必着(電子メールの添付書類または郵送)

要旨原稿提出：2014年4月4日(金)必着(電子メールの添付書類または郵送)

大会参加費の郵便振り込み：2014年4月4日(金)までに行ってください。

大会参加費：一般会員3000円、学生会員1500円を予定しています。

当日参加も受け付けますが、講演要旨集の参加者名簿にはお名前は掲載されません。

今回は冊子体の合同大会講演要旨集を作成します。

<連絡先>

高校生ポスター発表および沖縄生物学会関連の問い合わせは下記にお願いします。

沖縄生物学会第51回大会準備委員会

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地 琉球大学理学部海洋自然科学科生物系事務室内
日高道雄 TEL(098)895-8577 FAX(098)985-8576, hidaka@sci.u-ryukyu.ac.jp

沖縄生物学会評議会報告

2013年度沖縄生物学会第1回評議会が2013年11月11日(月)午後7時から、琉球大学理学部528教室において開催されました。

出席者：日高道雄、当山昌直、徳田岳、吉野弘美、盛口満、金城和三、磯村尚子、山崎仁也、長田智史、嵩原健二、須田彰一郎、中村崇、戸田守、山川彩子、伊澤雅子、玉城歩
委任状：安座間安史、當間順一、阿部篤志

I. 報告事項

日高会長より以下について説明があった。特に質問はなかった。

1. 第50回大会と沖縄生物学会創立50周年記念講演会・写真展について

(1) 第50回大会：琉大：2013年5月25日(土)

大会参加人数：184名、懇親会参加人数：53名

(2) 沖縄生物学会50周年記念講演会・写真展：県博：2013年5月26日(日)

記念講演会参加人数：191名、写真展参加人数：220名

(3) 50周年記念講演会には琉球大学後援財団より211,000円の支援を得た。

2. 国立自然史博物館を沖縄に設立要請するためのシンポジウム開催について

公開シンポジウム「沖縄に国立自然史博物館をつくろう! (仮題)」を来年2014年3月1日(土)に自治会館にて開催する。【参考資料あり】

3. 4学会合同大会について

2014年5月24日(土)、25日(日)琉球大学共通教育棟で開催する。

4. 県立博物館・美術館より、博物館特別展後援の礼状を受領した。

II. 審議事項

基本的に日高会長による説明・提案に基づいて審議された。2については一部当山氏によって、5については中村氏より説明があった。

1. 国立自然史博物館設立要請公開シンポジウムへの協力

- これまでも沖生会として県立自然史博物館設立を要請してきた経緯を考え、本シンポジウムの主催団体の1つとなることについて了承された。
- それにあたって、当山昌直（沖生会自然史博物館要請委員会委員長）、千木良芳範（県博前副館長）の両氏がシンポジウム実行委員会委員となったことについて報告された。

2. 自然史博物館設立要請委員会（当山委員長）の再発足について

- 沖縄に国立自然史博物館設置を要請する動きに沖生会として積極的に関わり、アイデア、意見を出すとともに、地域からの国立自然史博物館要請のシンボルとして、協力するために本委員会を再発足させることが了承された。
- 以前の委員会は「県立自然史博物館設立要請委員会」であったが今回は国立であるので、会の名称は変更することが当山委員長から提案され、了承された。
- メンバーは委員長と会長によって検討する。

3. 四学会合同大会について

- 各学会から1名の世話人が出て実行委員会を立ち上げて進めている（委員長中村宗一氏）。沖生会からは日高会長が入っている。
- 合同大会について以下の点が了承された。
 - (1) 前回の2005年度の大会と同様、参加費、懇親会費は学会間で同一料金とする。
 - (2) 一般講演は、原則として4会場（動物、植物、生態、沖生会）で行う。講演数によって調整する。
 - (3) シンポジウムおよびポスターは合同で行う。シンポジウムは公開とし、無料とする。
 - (4) 高校生ポスターの募集を沖生会が主体となって行う。生物教育研究会と相談しながら、特に高校生枠を設けず一般のポスターと合同で行う、必要であれば招聘状または派遣依頼文を出し、大会参加費は免除する。
 - (5) 5月24日（土）は、各学会の支部会・総会、シンポジウムとし、その夜に懇親会を行う。5月25日（日）は一般講演を行う。
 - (6) 生物系が共催し、生物系教員が運営に関わる予定である。ただし、沖生会の会場については、沖生会として準備が必要である。

4. 理科教育連携WGの発足について

- 沖縄生物教育研究会の意見も聞きながら、沖生会としてどのような貢献が望まれているか、どのような連携が可能かを考えるためのWGを立ち上げることが提案され、了承された。
- 例えば、(1) 教科書の大改訂に伴い新たに導入された先端的分野に関する講習会の開催、(2) 沖縄の生物を用いた解剖や顕微鏡観察、室内実験の実験書の作成などがあげられる。
- 杉尾幸司、山崎仁也、藤田喜久、富永篤、日高道雄＋生物教育研究会より1～2名を、メンバーとする。

5. 交換図書の利用と整理について

以下の方針が了承された。

- (1) HP上に交換図書のリストを掲載し、利用希望の有無を把握した後に、整理する。
- (2) ウェブ上で入手可能な図書、利用希望の無い図書については、受入れ中止も検討する。

6. 池原貞雄記念賞について

- 委員の宮城氏は2期務められたため、千木良氏と交代した。
- 現規約では、対象者は「沖縄の生物の研究・教育を活発に行い、将来の成果が期待される比較的若い会員」となっている。教育分野では、(1)「比較的若い」をはずす、(2) 個人のみでなくグループも可とする、(3) 教育分野の評価が難しいことから出版物を対象とする、などの改訂が提案された。

- 審議の結果、(3)については運用面で対応する。教育分野の応募の呼びかけや募集記事での説明などを行う。教育分野の場合、書籍、新聞記事、活動なども業績として評価できるように、池原貞雄記念賞選考委員会で内規を作成する。
- (1)、(2)については規定の変更が必要である。

Ⅲ. 事務局として当面对応すべき懸案事項について参考資料に基づいて日高会長より説明がなされた。

- (1) 会員名簿のエクセルファイル作成、(2) 会誌発送の委託、(3) 会員 ML の管理、(4) 交換図書、寄贈図書の管理、(5) 池原貞雄記念出版物編集委員会、(6) 理科教育連携など。

Ⅳ. その他

- 当山氏より池原貞雄記念出版物の状況について報告があった。
現在、横田編集長よりデータを引き継いで編集作業を進めている。沖縄の古い写真をいれる。「生物学徒が見た沖縄」の写真を使用する。

第5回沖縄生物学会池原貞雄記念賞候補者の募集

本賞は沖縄の生物の研究・教育を活発に行い、将来の成果が期待される比較的若い会員を対象として贈られるものです。会員の皆様からの積極的な他薦または自薦をお願いします。評議員会報告にもありますように、教育分野の応募も歓迎いたします。なお、受賞者には自らの研究または活動の概要を受賞講演として沖縄生物学会大会で紹介していただきます。

募集要領

1. 資格：原則として沖縄生物学会の会員（授賞式の時点で会員歴が1年以上）であること。すでに教授・部長などの指導的地位についている者は対象者から除きます。
2. 応募方法：以下の書類を下記の選考委員長宛に送付してください。なお推薦は2年間有効です。
他薦の場合
 - (1) 候補者の氏名と連絡先
 - (2) 推薦理由書（A4用紙に1枚以内、1000字程度で応募者の活動内容がよくわかるように書いて下さい。）
 - (3) 被推薦者の業績リストまたは活動内容がわかる資料（様式は自由。作成が困難な場合は、選考委員会が候補者に提出を依頼しますので不要です。）
 自薦の場合
 - (1) 略歴と連絡先
 - (2) 自薦の理由書（A4用紙に1枚以内、1000字程度で応募者の活動内容がよくわかるように書いて下さい。）
 - (3) 業績リストまたは活動内容がわかる資料（様式は自由）
3. 応募書類の提出期限と送付先
2014年1月31日（当日必着）〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1 琉球大学理学部海洋自然科学科内 沖縄生物学会池原貞雄記念賞事務局 宛
電子メールでの応募も受け付けます。選考委員長（hidaka@sci.u-ryukyu.ac.jp）まで必要書類を添付書類としてお送り下さい。

4. 問い合わせ：本件に関する問い合わせは、選考委員長までお願いします。
第5回池原貞雄記念賞選考委員長 日高道雄
Tel: 098-895-8547, Fax: 098-895-8576 E-mail: hidaka@sci.u-ryukyu.ac.jp

沖縄県生物学会賛助会員

本学会にご協力いただいている賛助会員は下記の通りです。

株式会社 猪原商会沖縄営業所 所長 小林宏行
〒900-0033 那覇市久米1丁目7番10号 (098)868-6373

株式会社 森山商事 代表取締役 森山紹政
〒902-0064 那覇市寄宮2丁目29番22号 (098)835-4056

株式会社 イーエーシー 代表取締役 大石哲也
〒901-2127 浦添市屋富祖3丁目34番17号 (098)942-0085

原稿募集のお知らせ

これまで沖縄生物学会誌では、12月末に「締め切り日」を設け、この日までに投稿された原稿を全て掲載してきました。しかし、一部論文では審査が長引き、その結果、出版が本来の3月末から大幅に遅れ、9月や10月に発行されていました。そこで、第45号より締め切り日を廃止し、期日までに投稿されたものでなく、印刷業者への入稿日までに審査の終わったものを掲載するように変更しました。

1回の審査には、早くも2週間、通常は2ヶ月程度要しています。編集委員会での承認や校正作業、さらには年度末の印刷業者の混み具合、査読者への負担等を考えると、年明けに審査の終了していない論文は掲載が非常に難しくなります。

つきましては、諸事情をご理解の上、何卒お早めのご投稿をお願いします。投稿に際しては、第45号より投稿規定が大幅に変更されていますので、ご注意ください。どうぞよろしくお願いいたします。

なお、e-mailによる原稿に関するお問い合わせは、編集幹事の成瀬貫 (naruse@lab.u-ryukyu.ac.jp)までお寄せ下さい。

原稿送付先: 〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1

琉球大学理学部海洋自然科学科生物系内

沖縄生物学会編集委員会

沖縄生物学会

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1番地

琉球大学理学部海洋自然科学科生物系内

生物系事務室 TEL:(098)895-8577

庶務 中村 崇 (098)895-8897

FAX:(098)895-8576, okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp

振替口座 郵便:02030-8-30433 沖縄生物学会

銀行:琉球銀行宜野湾支店 普通051-065沖縄生物学会